

「保健医療福祉科学」執筆要領

1. 論文の構成

- 1) 表題：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。全ての種類の投稿論文に英文の表題を記載する。
- 2) 著者名：著者は、当該研究・論文執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。
- 3) 著者所属機関名
- 4) 要旨：
 - (1) 和文要旨は要点を400字以内でまとめ、本文とは用紙を別にして作成する。
 - (2) 英文要旨（原著のみ）は要点を200語以内にまとめ、ダブルスペースで印字する。投稿前にネイティブ・スピーカーの校閲を受けること。
- 5) キーワード（5語以内）：

表題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。日本語および英語で表記し、要旨の末尾に記載する。
- 6) 本文：
 - (1) はじめに（序論、緒言）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性などを記述する。
 - (2) 対象および方法
用いた研究方法について第3者が追試できるように記述する。
 - (3) 倫理的配慮
研究デザインに応じた倫理的配慮の内容について本文に記載する。研究倫理審査を受けている場合は、その承認番号等を必ず明記する。倫理審査が必要ない場合は、その理由と適切な手続きをしていることを記述する。
 - (4) 結果
研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す。
 - (5) 考察
結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。
 - (6) 謝辞
著者資格には該当しない研究への貢献者、および助成金受給を有する場合のみ記載する。
 - (7) 利益相反
研究の遂行や論文作成において、利益相反が生じた場合は、その内容を記述する。利益相反が生じない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。
- 7) 文献：引用文献のみとする。

2. 投稿原稿の構成

表紙項、和文要旨、英文要旨（原著のみ）、キーワード、本文、文献、図表（および説明文）で構成する。

3. 原稿の規定分量

- 1) 原著は、和文要旨、英文要旨、キーワード、図表および文献などを合わせて 12000 字以内とする。
- 2) 研究報告、総説、資料、その他は、和文要旨、キーワード、図表、文献などを合わせて 12000 字以内とする。また、英文要旨は必要としない。
- 3) 図表は、刷り上がり 1/4 頁大のもの 1 個を 400 字として換算する。

4. 表紙項

論文には表紙項をつける。表紙項には、論文の種類、和文表題、英文表題を記載する。初回投稿時には著者名や所属機関名は記載しない。

5. 要旨

論文には和文、英文（原著のみ）の要旨をつけ、文末にキーワード（5 語以内）を添える。

6. 本文

- 1) 論文は原則として和文とし、パソコンのワープロソフト（Word）を使用して作成する。
- 2) 用紙は A4 判を用い、用紙設定は、文字数：1 頁 1200 字（40 字×30 行）、余白：上下端 25 mm、左右端 25 mm とする。
- 3) 図表位置の指定は、右の余白に挿入希望位置を赤字で記載する。
- 4) ページ番号は右下端に、表紙項、要旨を含めた通し番号で記載する。
- 5) 本文は、日本語を MS 明朝体で表記し、英語と数字、番号の記載は Century とする。フォントは 11 ポイントとする。
- 6) 見出しは大見出しから順に 1.、2....、1)、2)...、(1)、(2)...、①、②...と表記する。
- 7) 本文中の句読点は、和文の句点は「。」読点は「、」を使用し、英文は半角で「,」「.」を使用する。
- 8) 地名、人物名等の固有名詞は原語またはカタカナで記し、必要に応じて訳語を添える。人物名は原則として姓のみの表記とする。
- 9) 度量単位 CGS 単位あるいは SI 単位を用い、半角で表記する。
- 10) 略語を使用する場合は、最初に使用する箇所で略語と共に略する元の語を記載して、略語であることを示す。
- 11) 英文での投稿は、和文での投稿に準じる。ダブルスペースで作成し、和文の要旨（日本語キーワードを含む）を添える。原則として、英文投稿の論文は、ネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受けること。

7. 図表

- 1) 図表は、1 点ごとに 1 枚の用紙で作成する。図（写真を含む）は表題とその説明文を添え、写真はモノクロでの掲載となるため、画質などに配慮すること。表は、表題とその脚注または説明文を添える。
- 2) 本文での図表の表記は、図 1、Fig.1、表 1、Table1 と記し、本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。
- 3) 図の番号および表題は図の下に、表の場合は、表題は表の上に、脚注や説明は表の下につける。図の説明はページをあらたにして記載する。

8. 文献

- 1) 引用や参考文献は公開された著作物を用い、引用順に番号をつけて表記する（バンクーバー方式）。

- 2) 未公開のデータを引用する場合は、本文中に未発表、私信、unpublished data などと書き、引用文献には含めない。
- 3) 本文中の引用箇所は 1)、1, 5, 7) あるいは 1-6) のように肩番号をつけて記す。また、著者名を本文に直接引用する場合に 3 名以上連名のときは“ら”、英文では “*et al.*” とする。
例1) 田中²⁾の見解は
例2) Foster E, Jeffrey Y, Ann C. *et al.*¹²⁾ は
- 4) 引用文献の表記方法は、American Medical Association (AMA) の引用方式に従う。
 - (1) 和書の場合、数字・カンマ・ドット・コロンのセミコロン・括弧は半角、フォントは Century で表記する。
 - (2) 著者が 6 名以上いる場合、4 人目以降の著者名を“ら”、英文では “*et al.*” と省略して表記する。
 - (3) 雑誌名は略名を用いて表記することも可能である。英文雑誌の略名は U.S. National Library of Medicine のウェブサイト内にある LocatorPlus (<http://locatorplus.gov/>) を参照する。医中誌に掲載されている和雑誌については医中誌掲載リスト (<http://www.jamas.or.jp/user/database/search/alllist>) を参照のこと。

雑誌論文の場合

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ.

- 例1) 中谷 敏昭, 芳賀 脩光, 岡本 希, 車谷 典男. 一般在宅健常高齢者を対象としたアップアンドゴーテストの有用性. 日運動生理誌. 2008; 15(1): 1-10.
- 例2) 田平 隆行, 中村 剛, 磯 直樹ら. 高齢者の認知機能低下予防プログラム「拮抗体操」の開発 前頭前野に及ぼす影響に関する予備的研究. 作業療法. 2012; 31(4): 353-362.
- 例3) Mason RA, Rispoli M, Ganz JB, Boles MB, Orr K. Effects of video modeling on communicative social skills of college students with Asperger syndrome. Dev Neurorehabil. 2012; 15(6): 425-434.
- 例4) Fukushima H, Cureoglu S, Schachern P, *et al.* Cochlear changes in patients with type 1 diabetes mellitus. Otolaryngol Head Neck Surg. 2005; 133: 100-106.

オンライン雑誌論文の場合

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年; 巻数(号数): 開始ページ-終了ページ. 入手先 (入手年月日).

- 例1) ページ付があり、DOI が記されている場合。
Coppinger T, Jeanes YM, Hardwick J, Reeves S. Body mass, frequency of eating and breakfast consumption in 9-13 year-olds. J Hum Nutr Diet. 2012; 25(1): 43-49.
doi:10.1111/j.1365-277X.2011.01184.x
- 例2) DOI が記されていない場合。
Calhoun D, Trimarco T, Meek R, Locasto D. Distinguishing diabetes: Differentiate between type 1 & type 2 DM. JEMS [serial online]. November 2011; 36(11): 32-48. Available from: CINAHL Plus with Full Text, Ipswich, MA. Accessed February 2, 2012.

単行本の場合

著者名. 書名. 出版地: 出版社; 出版年.

- 例1) 中井久夫. 新版・精神科治療の覚書. 東京: 日本評論社; 2014.

- 例2) Modlin J, Jenkins P. Decision Analysis in Planning for a Polio Outbreak in the United States. San Francisco, CA: Pediatric Academic Societies; 2004.

単行本の章の場合

章の著者. 章のタイトル. (英文は In:) 編者, (編). (英文は ed.) 書名. 出版地: 出版社; 出版年: 開始ページ-終了ページ.

- 例1) 松為信雄. わが国における職業リハビリテーションの動向. 日本職業リハビリテーション学会, (編). 職業リハビリテーションの基礎と実践. 東京: 中央法規; 2012: 14-37.
- 例2) Solensky R. Drug allergy: desensitization and treatment of reactions to antibiotics and aspirin. In: Lockey P, ed. Allergens and Allergen Immunotherapy. 3rd ed. New York, NY: Marcel Dekker; 2004: 585-606.

翻訳単行本 の場合

- 例1) Mayeroff M. On Caring. New York, NY: HarperCollins Publishers; 1971. (田村真, 向野宣之. 訳. ケアの本質—生きることの意味. 東京: ゆみる出版; 1987.)

新聞記事の場合

署名記事の場合は著者. 記事タイトル. 新聞名. 発行年月日. オンライン記事の場合は発行年月日の後に URL とアクセス年月日を付す.

- 例1) 杉原里美. 住民参加型学校広がるか 運営・教員任用に意見「コミュニティ・スクール」. 朝日新聞. 2015年9月27日.
- 例2) Pollack A. FDA approves new cystic fibrosis drug. New York Times. January 31, 2012. <http://www.nytimes.com/2012/02/01/business/fda-approves-cystic-fibrosisdrug.html?ref=health>. Accessed February 1, 2012.

ウェブサイトの場合

ウェブサイトのタイトル. URL 公表年月日. アクセス年月日.

- 例1) 厚生労働省 インフルエンザ総合ページ.
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html 2015年9月24日更新. アクセス2015年9月30日.
- 例2) Outbreak notice: Cholera in Haiti. Centers for Disease Control and Prevention Web site. <http://wwwnc.cdc.gov/travel/notices/outbreaknotice/haiti-cholera.htm>
Published October 22, 2010. Updated January 9, 2012. Accessed February 1, 2012.

9. 提出書類の作成

1) 査読論文用の提出ファイル: 初回投稿時に送付する書類は、すべて PDF ファイルとする

(1) 投稿承諾書

- ① 著者全員の氏名、所属、会員番号（筆頭著者は必須）を記載する。
- ② 著者名はオーサーシップの順番通りに記載する。
- ③ 著者全員が、最終投稿原稿に目を通し投稿に同意している事を確認し、署名する。

(2) 論文一式

- ① 初回提出ファイルは、表紙（論文の種類、和文表題、英文表題を記載し、著者名と所属機関を記載しない）、本文、引用文献、図とその説明、表とその説明の順番に

並べ、ページ番号を右下端に表紙を含めた通し番号で挿入する。図や表は、それぞれ1点ずつで1頁にする。これらを1つのPDFファイルにまとめる。【論文一式1】

- ② 要旨は和文と英文（原著のみ）でそれぞれ1頁を使用する。要旨の末尾に日本語、英語のキーワードを記載、それぞれ5語以内で記載する。これらを1つのPDFファイルにまとめる。【論文一式2】
- ③ 要旨と本文の頁には、ページ毎に行番号を振る（Wordの場合、ページレイアウト、ページ設定から行番号を選択する）。
- ④ 図表の挿入位置は、本文に図形の吹き出しを挿入して右余白に赤字で記載する。
- ⑤ Word以外のファイル形式で作成した図表は、可能な場合はWordに貼り付け、一つにまとめたPDFファイルを作成する。Wordへの貼付ができない図表は、それぞれPDFファイルを作成し、PDF編集ソフトを用いて一つのファイルにまとめる。

(3) 投稿チェックリスト

投稿原稿が、投稿規定に従って作成されているかチェックする。

- 2) 論文掲載用の掲載論文原稿は「(査読終了後)掲載論文原稿の提出先」から、Word（またはテキストスタイル）形式で、図表は作成したソフトウェアの形式で、WebClassからファイルを提出する。

- (1) Word等のファイル形式に、表紙項、和文要旨、英文要旨（原著のみ）、キーワード（日本語および英語）、本文、引用文献、図の表題と説明を記載する。図や表はそれぞれ1点ずつファイルで提出する。ただし図の表題と説明はWord等のファイルの最後、引用文献のあとに記載する。
- (2) 最終原稿の表紙項には、論文の種類、表題（和文）、著者全員の名前と所属機関（和文）、表題（英文）・著者全員の名前と所属機関（英文）を記入し、所属が複数機関にわたる場合は所属機関と対応する番号を付す。

例1) 原著

保健医療福祉科学における投稿論文の書き方の考察

埼玉 花子、三野宮 太郎

埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科

The consideration of how to write an article in the Journal of Human Care Sciences.

Hanako Saitama, Taro Sannomiya

Department of Health Sciences, School of Health and Social Services, Saitama Prefectural University

例2) 資料

保健医療福祉科学誌への論文投稿に関する注意点

埼玉 花子¹⁾、越谷 学²⁾、三野宮 太郎¹⁾

1) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科、2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
共通教育科

Matters that require attention about the article submission to the Journal of Human Care Sciences.

Hanako Saitama¹⁾, Manabu Koshigaya²⁾, Taro Sannomiya¹⁾

- 1) Department of Health Sciences, School of Health and Social Services, Saitama Prefectural University
- 2) Center for University-wide Education, Saitama Prefectural University

* なお、埼玉県立大学の各所属名の英文表記は、下記のように統一して記載する。

埼玉県立大学	Saitama Prefectural University
保健医療福祉学部	School of Health and Social Services,
看護学科	Department of Nursing
理学療法学科	Department of Physical Therapy
作業療法学科	Department of Occupational Therapy
社会福祉子ども学科	Department of Social Work and Child Science
健康開発学科	Department of Health Sciences
共通教育科	Center for university-wide education
保健医療福祉学研究科	Graduate Course of Health and Social Services
－博士前期課程／博士後期課程	Master's Program／Doctoral Program